

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回宍粟市地域公共交通会議(令和3年度)	
開 催 日 時	令和3年6月24日 14時00分～15時15分	
開 催 場 所	宍粟防災センター5階ホール	
委員長・会長 氏名	会長（副市長）富田 健次	
委 員 氏 名	(出席者) 別紙のとおり	(欠席者) 別紙のとおり
事 務 局 氏 名	市民生活部 森本部長 山本次長 まちづくり推進課 小河次長兼課長、福田係長、上川主事 一宮市民局まちづくり推進課 木村主査 波賀市民局まちづくり推進課 谷口主事 千種市民局まちづくり推進課 幸福主事 健康福祉部障害福祉課 森谷係長	
傍 聴 人 数	1人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	公開	(非公開の理由) —
決 定 事 項	(協議事項) 1. 令和4年度フィーダー系統確保維持計画(案) ⇒承認	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 (記名押印)	(委員長等) 会 長 富 田 健 次 ㊟	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	1. 開会
会長	2. あいさつ
事務局	3. 宍粟市地域公共交通会議委員の紹介
	4. 宍粟市地域公共交通会議の趣旨説明
	5. 議事
会長	(1) 令和4年度フィーダー系統確保維持計画(案)について事務局より説明をお願いします。
事務局	※(1) 令和4年度フィーダー系統確保維持計画(案)について説明
会長	事務局、補足説明等はないか。
事務局	国の補助を受ける上で国土交通大臣から認定を受ける必要がある。基本的に例年と同じ内容で、特に変更点はない。
会長	何かご意見等ないか。では計画を提出することに承認いただけるか。
委員	※異議なし
	6. 報告
会長	(1) 路線(小型)バスの利用実績について事務局より説明をお願いします。
事務局	※(1) 路線(小型)バスの利用実績について説明
会長	何かご意見等ないか。
委員	与位河東線と蔦沢線について利用者数が減ってきているが何か理由はあるか。
事務局	与位河東線については再編の影響があるかもしれない。運行事業者より何か原因を把握されていたらお願いしたい。
オブザーバー	これといったことは聞いていない。
事務局	蔦沢線について運行事業者より何か情報はるか。
委員	今年度より高校生が乗車するということで時間を変更したが、今まで利用していた方が乗れなくなった。高校生も乗っていないと利用者からの声を聞いている。様子を見て元のダイヤに戻してもよいのではと思う。
会長	他に何かご意見等ないか。
	なければ次の(2)今後の路線見直しについて事務局より説明をお願いします。

事務局	※ (2) 今後の路線見直しについて説明。
会長	何かご意見等ないか。
委員	バスの時刻はどのように決めているのか。例えば戸倉線の朝一のダイヤで波賀市民局に着く時間に波賀市民局は開いていないと聞くが。
事務局	道谷の場合、大型バス、小型バスが関係してくるが、大型バスについては昔から決まった時間で運行している。小型バスについては朝昼晩の3便を基本に設定している。毎年要望調査もしており、要望があればダイヤの見直しを運行事業者にお願いしている。
事務局	補足だが、小型バスについては、利用者数の状況と経費のこともあり、複数の地域を1人の運転手でシェアする形で運行している。その中で、利用状況を鑑み調整している。
会長	互助による運行の先進地視察はどこを考えているのか。
事務局	いくらか調べているが、島根県が先進的に取り組まれているのでそこをメインに考えている。
会長	島根県の実情等で、今の時点でわかることはあるか。
事務局	これから個別に実績を確認していく。先日行われた国土交通省の研修でも事例発表でもあったので仕組みができていると考えている。
会長	何かご意見等ないか。
委員	平成27年の運行開始で、国からの評価も高く、良いものを作られたと思うが、このような事態も悲観ケースとしては予測できていたかと思う。路線バスとして維持していけないことは残念だが、妥当な判断だとは思う。互助の事例は多くはなく、可能性のある仕組みと思うが課題は多い。地元の意識や行政の調整の役割が大事になる。デマンドに戻すという考えはないとのことだが、昔と違いデマンドのシステムも変わってきている。最初から選択肢からなくすのではなくデマンドも考えたうえで結果、互助にしていけばよいと思う。
事務局	今回対象路線の地域との話し合いは3年ほどかけて行ってきた。かつての染河内地区のコミュニティバスは市が車両を提供し、地域の方に運転手の確保をしていただいたが、地域にそういった過去の経緯についても話をさせていただき、その中で互助という方法もあることを伝えさせていただき、前向きな声もあったので進めていこうとしている。デマンドについても今後も比較検討していきたい。

会長	他に何かご意見等ないか。
委員	利用者の少ない地域では実際に互助の仕組みは既にあるのではないか。そのあたりは調査はされていないか。
事務局	三方地区についてはアンケートを取らせていただいた。項目の中で、「主な移動手段」を設けさせていただいたが8割が自家用車という結果だった。「バスがなくなった場合の移動手段」という項目では、家族に乗せてもらうという回答が相当数あった。互助による移動があることも少しは聞いている。市としては互助の運行を仕組みとしてつくりあげていきたい考えである。
会長	先進地視察については今後、地域公共交通会議で何か報告はあるのか。
事務局	そのつもりである。
会長	7. その他について何かあるか。
委員	大谷線について雪が降る年は実相寺から北の道路端の草を刈りこんでいただいていたが昨年度は降らなかったため、刈り込まれていない。梅雨になり対向車がある場合バスに擦れて危険。建設部に伝えていただき対応いただきたい。
事務局	市道になるので、担当課に伝える。
副会長	8. 閉会 ワクチン接種も始まり、緊急事態宣言も明け、少しずつ日常が取り戻されつつあるかと思う。これを機会にバスの利用が増えることを期待したい。